

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療心理科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		実習	
科 目 名		福祉施設実習・実習指導		必修/選択の別		選択		授業時数(単位数)		120 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限		前期 集中		教室名			
担 当 教 員		小川正子・加藤裕史 岡井豪		実務経験と その関連資格							
《授業科目における学習内容》											
心理専攻の学生を対象とし、社会福祉分野の施設実習を柔軟に実施することを通し、基本的な社会福祉の問題や障害・支援の理解、また学生自身のマナーや自己についての理解と気づきを得ることを目的とする。											
《成績評価の方法と基準》											
学生から提出された実習記録と、実習指導者から頂く実習評価表、教員巡回指導時の評価等により総合的に判断する。											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
これまでに学んだ関連科目の教科書と資料を参考にすること											
《授業外における学習方法》											
心理を学び、医療・福祉・産業・教育分野でそれを活かして働こうとする者として、必要と思われることは随時学習しておく。											
《履修に当たっての留意点》											
当該科目は実習科目であり、遅刻・欠席は一切認めない。 実習に関連する科目について自己学習に努め、帰校時指導も併せて学びの多い実習に取り組むこと。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者、職員など関係者との基本的なコミュニケーションがとれるようになる。				実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。			
		各コマにおける授業予定	利用者、職員、保護者、施設、機関、地域住民、ボランティア等の基本的コミュニケーション、円滑な人間関係の形成 等								
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者、職員など関係者との基本的なコミュニケーションがとれるようになる。				実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。			
		各コマにおける授業予定	利用者、職員、保護者、施設、機関、地域住民、ボランティア等の基本的コミュニケーション、円滑な人間関係の形成 等								
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者理解、ニーズの把握ができるようになる。①				実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。			
		各コマにおける授業予定	利用者理解、需要、支援計画 等								
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者理解、ニーズの把握ができるようになる。②				実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。			
		各コマにおける授業予定	利用者理解、需要、支援計画 等								
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者やその関係者との支援関係の形成ができるようになる。①				実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。			
		各コマにおける授業予定	利用者、関係者(家族、親族、友人等)との支援関係と形成								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者やその関係者との支援関係の形成ができるようになる。 ②	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	利用者、関係者(家族、親族、友人等)との支援関係と形成		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者や家族への権利擁護と支援と評価ができるようになる。①	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	利用者や関係者(家族、親族、友人等)への権利擁護、支援(エンパワメント)、評価 等		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者や家族への権利擁護と支援と評価ができるようになる。②	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	利用者や関係者(家族、親族、友人等)への権利擁護、支援(エンパワメント)、評価 等		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	他職種連携とチームアプローチについて説明できるようになる。 ①	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	医療、福祉に係る他職種連携、支援におけるチームアプローチ等		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	他職種連携とチームアプローチについて説明できるようになる。 ②	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	医療、福祉に係る他職種連携、支援におけるチームアプローチ等		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	心理職の職業倫理と法的義務を説明できるようになる。	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	公認心理師および臨床心理士の職業倫理、法的義務 等		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域施設職員としての就業規定を理解し、職員として役割や責務を理解できるようになる。	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	施設・機関・事業者・団体等の職員の就業規定、組織の一員として働く役割と責任 等		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設の経営やサービス等運営の実際について説明できるようになる。	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	施設経営、運営、サービスと管理等の実際		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設が地域の中にどのように根付いているか説明できるようになる。①	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	地域社会の中の施設の役割と位置づけ、アウトリーチ、ネットワーク、社会資源の活用、調整、開発 等		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設が地域の中にどのように根付いているか説明できるようになる。②	実習日誌 関連資料	その日のうちにわからないことに関して指導を受け、確認を実施する。
		各コマにおける授業予定	地域社会の中の施設の役割と位置づけ、アウトリーチ、ネットワーク、社会資源の活用、調整、開発 等		